

**整理番号** S-3

**出 展** 織物欠点解析事例集

**欠 点 名** たて縞(精練不良)

**品 名** 絹帯地

**試料形態** 織物

**組 織** 朱子

**糸 使 い**

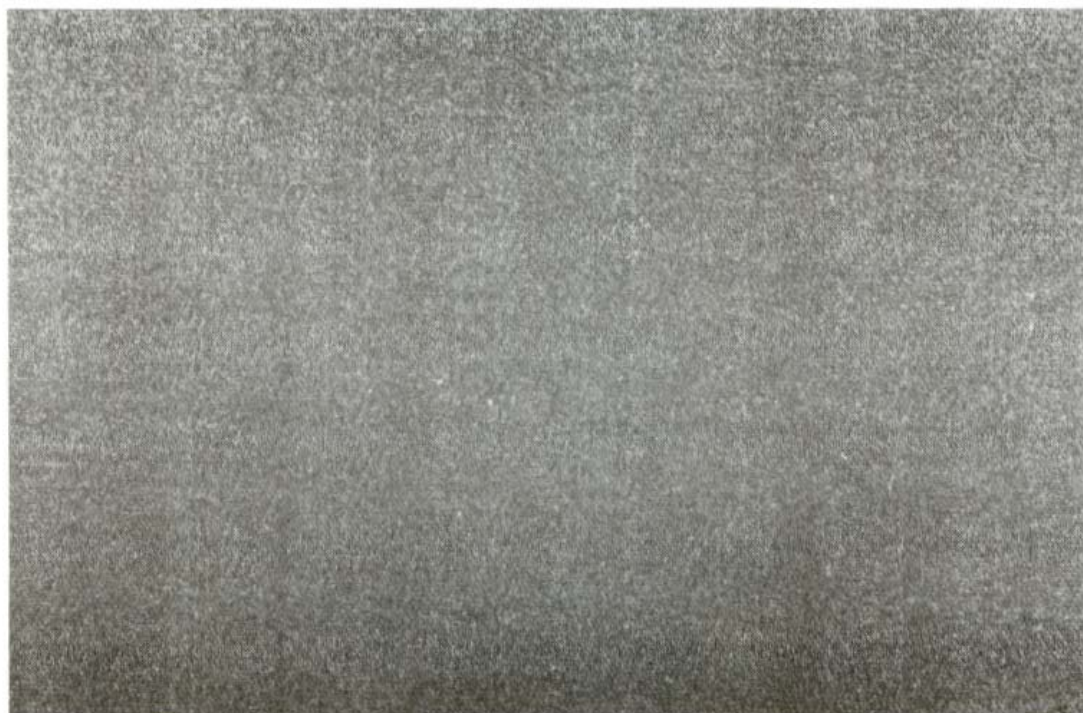
たて糸:絹生糸

よこ糸:絹生糸

**欠点発生状況**

半練り先染め糸使いの正絹喪服帯地に不規則なたて縞が現われている。

**試料写真**



## 試験結果

### (1)脱色、染色試験

・ハイドロサルファイトで脱色した生地を酸性染料で再染色した結果、たて縞はなくなった。

---

## 所 見

帯地であるので絹のセリシンを落さない様に染めるために、比較的低温で染色したものと考えられ、ハイドロサルファイトで簡単に脱色できた。これを再染色したところ、たて縞は完全に無くなった。従って本欠点はたて糸が半練りで先染糸であるので、練斑による染着差または染色方法の不適正などによってたて縞が発生したものと考えられる。なお、念のため検撚したところ撚数の差はなかった。

---